



きずな KOBE

第21号
TAKE FREE
February 2020



この情報誌は赤い羽根共同募金配分金を受けて発行しています。

特集1

阪神・淡路大震災から25年

社協×生協 担当者座談会

～当時と今、居場所づくりと私たちの役割～

特集2

大学ボランティアセンターへ行こう!

神戸常盤大学 神戸常盤ボランティアセンター /
神戸学院大学 ボランティア活動支援室



表紙写真 / 神戸学院大学ボランティア活動支援室 学生スタッフ災害班のみなさん

私もやっつーよ! 福祉のまちづくり

『自分の生きがい』から『誰かのためのやりがい』へ 加藤慧さん

おいしい! かわいい! 福祉のお店

社会福祉法人 神戸聖隷福祉事業団 まつぼっくり

神戸市社協 News!

読者の声&プレゼント

阪神・淡路大震災から25年

今年には阪神・淡路大震災から25年。震災により顕在化した多くの社会課題の中に”地域のつながりの希薄化”がありました。そんな中、再びつながりを作り、寄り添い心落ち着く時間を過ごす「居場所」が、当時数多く立ち上がりました。今号は、当時から今に至るまでの居場所を振り返りながら、現在も居場所づくりを支援している団体である「生協(コープこうべ)」と「社協」の担当者にその想いをお聞きしました。

社協 × 生協

担当者座談会

～ 当時と今、居場所づくりと私たちの役割 ～



あおぞらお茶会で語らいを

被災された方が居住する仮設住宅の空き地に張られたテントの中で茶話会をする様子。ボランティアが中心となって運営し、住民同士が集まりやすい雰囲気をつくっています。被災の体験を誰かに話すことや、同様の体験を聞くことで少しでも気持ちが軽くなれば、と始められました。



復興住宅で南京玉すだれを楽しむ

災害復興住宅では「隣近所に住む人がどんな人なのか分からない」、この状況を少しでも解決するため、新たなコミュニティづくりが活発になりました。交流のための楽しいイベントを開催し、「顔が見える」関係を築くための場所として多くの方が集まり、楽しんでいました。



お寺を活用し居場所を開催



全員に役割があるサークル活動のような居場所

現在、子どもから高齢者まで、世代を超えた多様な居場所が求められるようになりました。また、高齢者の介護予防に焦点を当てる、お寺など様々な場所で開催する、子ども食堂の運営に高校生が参加するなど、毎日のように地域住民が交流する居場所が立ち上がるようになりました。



コープサークル「コープ木曜会」のふれあい喫茶クリスマス会の様子



コープサークル「ロビー喫茶」のふれあい喫茶新年初開催で篠笛演奏会

震災当時に立ち上がり今も続いている居場所があります。現在も立上げ当時と同じ方が運営を担い、変わらない想いで集まってくれた方に楽しんでもらうことを続けています。一方で、運営メンバーは変わっても当時の想いを引き継ぎながら、新しい形で来てくれた方に楽しんでもらえるよう日々工夫しながら居場所運営を継続しています。



地域型仮設住宅の夏祭りイベント

居住者を高齢者や障がいのある方に限定した“地域型仮設住宅”で、月1回開かれていた居場所の様子。ボランティアが中心となり、お正月の餅つきや夏祭りなどのイベントを企画して、居住者や仮設周辺に住む地域住民と一緒に参加しました。

1995

2020

INTERVIEW 1



北区社会福祉協議会
北神事務所
生活支援コーディネーター
俣野 徹さん

震災後、灘区社会福祉協議会に派遣されました。仮設住宅から復興住宅に移られた方々へ交流の場や新たなコミュニティをつくるため、地域住民の方々と協力しながら企画を練り、現在の居場所のような場を一緒に作ったことが今でも思い出されます。近年、少子高齢化と言われる中で、高齢者が主役となって運営する3世代交流会のような場がある地域を創り出せれば、親世代は生きがいを、子・孫世代は地域での住みやすさが生まれるのではないかと考えています。色々な仕掛けを考えながら、社協がやるからこそ”地域の誰もが”安心して訪れることができる居場所のようなものを作りたいですね。

INTERVIEW 2



兵庫区社会福祉協議会
生活支援コーディネーター
南川 美紀さん

被災された方の^{つら}辛さを和らげる、少しでも楽しんでもらうといった考え方から、最近では自分たちの楽しみの延長線上で、その楽しみを同じ居場所にいる相手と分かち合う、といった考えが少しずつ広まっているように感じます。運営する人、参加する人の垣根をなくして、お互いに楽しむ場が増えています。地域で活動したいとご相談いただいた方々と一緒に、活動の場や協力者を探してつないだり、活動をPRしたりすることが私の今の役割かと考えています。そして、常にみなさんの縁の下の力持ちでありたい、地域を盛り上げたいというのが私の想いです。

INTERVIEW 3



生活協働組合コープこうべ
第3地区本部マネジャー
本田 明美さん

地域のために“何かしたい”という思いで自主・自発的な活動をされているコープこうべ組合員のボランティアさん(コープこうべでは活動者と呼ぶ)に寄り添い、間接的な関わりで支援していくことが地区本部の役割です。今後も、自分たちの活動を継続できるようサポートしていくとともに、多様な価値観や思想を持つ活動者同士の交流や連携した取り組みが広がればと思っています。“何かしたい”という思いが活動者自身にとって、いつまでも楽しめるものになるよう、応援し続けたいと思います。

INTERVIEW 4



西区社会福祉協議会
生活支援コーディネーター
日下 奈津美さん

地域活動の出発点は「困っている」だけでなく、「いいね」や「楽しそう」と感じられているから長続きするのでは、と思います。そのためにも、私自身が日頃からワクワクするものを見つけられるようアンテナを張って引出しを増やしたいと思っています。活動を常にお手伝いすることはできませんが、だからこそ素直な感謝をお伝えしたり、ヒントになるような情報を提供したり、地域で活動してくださっている方々のサポートを心がけています。希望や困りごと、悩みなどのつぶやきをしっかりキャッチして、つないでいくことが大切だと思っています。

大学ボランティアセンターへ行こう!

ボランティア活動って
どんなことを
するのだろう…

友達に誘われたけど、
自分にできるかな?

自分の興味があることや
得意なことを
何かに活かしたい!

そんな思いを持つ大学生のボランティア活動を支援する大学ボランティアセンター。

地域と大学をつなぎ、ボランティア活動だからこそその学びや

人との交流を創り出す場所になっています。

神戸常盤大学 神戸常盤ボランティアセンター

長田区大谷町2-6-2 神戸常盤大学内



神戸常盤大学は短期大学部も含めて“人を支援する”仕事を志望する学生が多い大学です。そのため、他者の立場に立って物事を考える場所を大学のカリキュラム以外でも作ることが重要であるとの考えから、2009年8月に神戸常盤ボランティアセンターが創設されました。授業や学内では出会うことのできない様々な人々との交流をボランティアセンターで経験してもらうことで、学生たちが「自分の生きかたを見つける」お手伝いができればと思っています。



大学生がボランティア活動を始めたきっかけは「友達や先輩に誘われた」や「楽しそうだった」がほとんどです。活動を続け普段出会えない人との交流や代えがたい経験をするうちに、気が付けば夢中になっているのだとか。



地域の防災訓練で炊き出しのボランティア活動。地域の自治会や婦人会などの地縁団体からボランティア活動の依頼を受けることが多く、若い学生たちが協力してくれることもあり、欠かせない存在となっています。

神戸学院大学 ボランティア活動支援室

中央区港島1-1-3(神戸学院大学ポートアイランド第1キャンパス内)
西区伊川谷町有瀬518(神戸学院大学有瀬キャンパス内)

神戸学院大学では学生のボランティア活動を、大学職員であるボランティアコーディネーターだけでなく“学生スタッフ”が協働して支援しています。学生スタッフは6つ(災害、国際、子ども、環境、広報、医療)の班に分かれて自分が興味を持つ分野のボランティア活動に組みながら、同じ学生目線で在学生のボランティア活動をサポートしています。



東日本大震災の被災地である東北から材料を仕入れた、岩手県の郷土料理「さんまのつみれ汁」の炊き出しボランティア。なぜボランティア活動をしているのですか?の問いに「非日常の経験、非日常の出会いがとて楽しいからです!」と目を輝かせて答えてくれました。

『自分の生きがい』から『誰かのためのやりがい』へ

「超高齢社会」、「人生100年時代」といった社会的課題に対し、高齢者が主役となり新しい高齢社会をつかっていくための仕掛けづくり等に取り組み、課題解決に向けたプロジェクトを提案・実践しているデザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 加藤慧さんにインタビューしました!



デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)

かとう けい
加藤慧さん

Profile

千葉県生まれ茨城県育ち、学生時代を神戸で過ごし、ランドスケープデザイン (都市における公園や広場など公共空間のデザイン) を学ぶ。KIITOの立上げメンバーとして関わり、こどもの創造教育プログラム『ちびっこうべ』を担当する中で市内のシェフやデザイナー等との親交を深める。現在は『男・本気のパン教室』、『大人の洋裁教室』プロジェクト等で地域の高齢者の生きがいづくりや活躍の場づくりをサポートするプログラムを企画し、将来自分もワクワクできる新しい高齢社会を目指して日々活動中。



男・本気のパン教室プロジェクト

地域の担い手に「男性」が少ないという課題、男性は人間関係が仕事に偏りがちで地域や同じ趣味のつながりが少ないという課題、これらを解決するアイデアとして「地域の高齢男性が集まって本気でパンを作ってみよう!」とスタートしたのが始まりです。市内4か所で教室を開催し、最初は「何か特技が欲しい」、「家にこもっているのも何だから」という思いの参加者の方々ですが、今は「待っていてくれる地域みなさんに美味しいパンを!」と自身の生きがいを見出され、キラキラ輝く姿は地域の担い手そのものです。市内外で現在7チームが活動中!

目指す未来の姿

将来、自分が高齢者になった時に“生きがいがない”、“不安でいっぱい”、“ワクワクできない”では悲しいじゃないですか。誰かのために、楽しみながら、何か活躍できる場所がある、そんな未来に向かう機会を作りたいと思っています。

ハードルは高い方が燃える

プロジェクトを企画する上で一定以上の“ハードルの高さ”を意識しています。カンタンで誰でもできることは、挑戦しやすいけれどすぐにマンネリ化してしまうので。例えば『男・本気のパン教室』では市内の一流シェフを講師に招き、プロの技術を学んでもらいました。参加者の方々はやがて“パンじい”と呼ばれ、最初のプロジェクト始動から4年以上が経つ今も、自身の技術研鑽に取り組んでいます。特に男性は、高いハードルに燃えるのめり込む方も多く感じます。

地域社会へつなぐ

彼らの活躍の場としてイベント等の開催だけでなく、社協さんにも協力してもらいながら地域の居場所やふれあい喫茶等につないでもらっています。“自分のため”から“誰かのため”へ、そしてその活躍がまだ見ぬ次の担い手を生み出していくことを目指し、日々試行錯誤しています。



兵庫区・新開地地区で行われた『男・本気のパン教室』の様子は神戸市社会福祉協議会公式YouTubeでも動画配信しています!ぜひご覧ください!

KIITOとは?

“デザイン都市・神戸”ならではの自由な視点とアイデアで社会的課題に取り組む拠点とし、1927年に輸出生糸の検査施設として建築された建物を活用し2012年8月にオープンした施設です。生糸 (きいと) 検査所にちなみ、“KIITO”と愛称で呼ばれています。

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)

〒651-0082 神戸市中央区小野浜町1-4
TEL 078-325-2201 FAX 078-325-2230
HP <http://kiito.jp/>
開館時間 9:00~21:00 休館日 月曜、年末年始
入館料 無料



おいしい！かわいい！福祉のお店

社会福祉法人 神戸聖隷福祉事業団

「ワークセンターわかまつ」が運営するカフェ ～まつぼっくり～

長田区の大正筋商店街に、令和元年10月からオープンしたカフェ「まつぼっくり」。神戸聖隷福祉事業団の就労継続支援B型事業所「ワークセンターわかまつ」が社会福祉充実計画（下記「Point!」参照）に基づいて開設しました。わか「まつ」の松の字を取り、松の種がやがて根を張って地面（＝地域）に浸透することを願い、まつぼっくりと名付けたそうです。施設利用者の方が作るクッキーやマドレーヌの他、昔懐かしの駄菓子や、長田の名物飲料“アップル”も販売されています。お近くにお越しの際はぜひ、お立ち寄りください♪

店内は全体的にレトロな雰囲気。お店の奥には座敷スペースも！ちゃぶ台が懐かしさを感じさせます…



飲み物（ホットコーヒー250円他）にはオリジナルクッキーがサービスで付きます。店頭で販売しておらず、イートイン限定です♪



施設利用者の方が接客や提供を担当します。笑顔でイキイキ、本当に楽しそうにお仕事しています☆

Point!

【社会福祉充実計画とは?】～かみくだいてご説明!～

2017年以降、社会福祉法人は毎年度、資産について法律などに定められた方法により「社会福祉充実財産」を算定します。「社会福祉充実財産」が生じる場合、「社会福祉充実計画」を策定し所管行政の承認を得て、社会福祉や地域公益など地域の福祉ニーズ等をふまえた事業に活用することが社会福祉法に規定されています。公益的な事業を担う社会福祉法人が事業で得た収益を施設運営や社会・地域のために活用し、その活用方法を広く見える化するものです。今回紹介したまつぼっくりは「施設利用者がイキイキ働く場所」、「地域活性化の拠点（集い場、憩いの場等）」となることを願い、本計画に基づいて開設されました。



「ワークセンターわかまつ」

〒653-0041 神戸市長田区久保町5-1-1 アスタくにつか3番館106

まつぼっくり

【営業時間】10:30～17:00（ラストオーダー16:00）【定休日】土・日・祝、お盆、年末年始

関西マスターズスポーツフェスティバル

シニアの皆さん、スポーツや文化活動を大いに楽しみ、仲間をつくりましょう!

募集種目

卓球、ゴルフ、バドミントン、弓道、剣道
ゲートボール、テニス、ソフトテニス
太極拳、グラウンド・ゴルフ、マラソン
家庭バレーボール、囲碁、将棋、ペタンク
ボウリング、ローンボウルズ

第33回こうべ長寿祭 参加者募集

開催期間 令和2年4月22日(水)～6月17日(水)

募集期間 令和2年3月2日(月)～

※締切日は種目により異なります。詳細は応募要領をご覧ください

応募資格 神戸市在住の60歳以上の方(昭和36年4月1日以前生まれの方)

応募要領 2月中旬頃から区役所等で配布(HPからダウンロード可)

主催 神戸市・こうべ長寿祭推進協議会・(公財)こうべ市民福祉振興協会



【お問合せ】(公財)こうべ市民福祉振興協会 こうべ長寿祭 募集係 078-743-8092

〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番1号 <http://www.shiawasenomura.org/>



北区・須磨区障害者支援センター開所のお知らせ

「生活介護」「短期入所」「障害相談・見守り支援」の3つの事業を一体的に運営する地域生活支援拠点としての障害者支援センターです。神戸市により各区に整備され、本会では昨年度の西区に続き令和元年11月に北区、令和2年2月に須磨区にセンターを開設しました

北区障害者支援センター

北区障害者支援センターは、緑豊かな六甲山系の麓にあり、四季折々の自然を感じることができます。センター職員一同、すべての方が自分らしくいつも笑顔でいきいきと過ごせるように、一人ひとりに寄り添い支援していきます。

【所在地】北区鈴蘭台西町1-26-2
【問合せ】生活介護・短期入所/ ☎078-592-1372 FAX 078-592-1381
相談/ ☎078-592-1371 FAX 078-592-1381



須磨区障害者支援センター

須磨区障害者支援センターは、須磨アルプスを望む閑静な住宅街に位置し、豊かなひと時を過ごすことができます。障がいのある方も地域の中で、それぞれの人生をその人らしく希望をもって暮らしていけるようお手伝いをさせていただきます。みなさまのご利用を心からお待ちしています。

【所在地】須磨区大田町7-3-15
【問合せ】生活介護・短期入所/ ☎078-739-1291 FAX 078-739-1293
相談/ ☎078-739-1292 FAX 078-739-1293



令和元年度神戸市社会福祉大会を開催しました

9月12日(木)に神戸文化ホールで「神戸市社会福祉大会」を開催しました。年号が平成から令和に変わったこの年、社会福祉事業の功労・奉仕者等の功績を顕彰するだけでなく、社会福祉関係者が市民福祉の推進の決意を新たにしました。

大会冊子(受賞者名簿)を本会ホームページに掲載しています。URL <https://www.with-kobe.or.jp/>



ご寄附をありがとうございます。

※寄附をいただいた個人・法人は、所得税・法人税の優遇措置が受けられます。

善意銀行 令和元年7月～12月



金銭口座：岡本尚彦、瑞乃会、いけばな 一木一草、匿名12件
物品口座：ナブテスコ株式会社、株式会社ケーエスケー、ヤナセ労働組合、岡本株式会社、ダイキチカバーオール内みんなであそべこと神戸、株式会社アシックス、匿名1件



金銭口座：神戸六甲ポートライオンズクラブ、神戸市子ども会連合会、神戸市乳児院連盟、社会福祉法人神戸市母子福祉たちばな会、神戸市児童養護施設連盟
物品口座：桃山台ホームデイサービスセンター、舞子台ホームデイサービスセンター、神戸真生塾、市内介護老人保健施設、神戸市乳児院連盟、須磨区社会福祉協議会、神戸市児童養護施設連盟、神戸市母子生活支援施設連盟、神戸市更生福祉施設連盟、市内その他福祉団体等

社会福祉推進基金 令和元年7月～12月

寄附者：株式会社ホームドライ、中野則子、津村富代、株式会社夢グループ、明治安田生命保険 神戸支社、全国福祉保育労働組合兵庫地方本部神戸支部、神戸市社会福祉協議会分会

ボランティア基金 令和元年8月～12月

寄附者：神戸労働者福祉協議会、NPO法人暮らしの寺小屋ライフサイエンス

令和元年台風第19号災害義援金 令和元年10月～12月

8,027,733円 多額の募金をお寄せいただきありがとうございました。被害が広域にわたるため、全国組織である「社会福祉法人中央共同募金会」に寄付いたしました。

ご承諾をいただいた方のみ掲載しています (敬称略)



URテナントは「子育て・高齢者支援事業」を応援しています!

子育て支援事業者への賃貸料優遇制度 賃貸料最大50%OFF
高齢者支援事業者への賃貸料優遇制度 賃貸料最大20%OFF

※申込後の審査により、賃貸料が割引になる事業かどうか判断させていただきます。また、既存店舗との競合業種は、団地によっては受付できない場合があります。

メリットいっぱいUR

- 権利金・礼金・手数料不要 初期費用が安い!
- 開店までの準備期間も安心 工事前の賃貸料無料
- 面倒な手続きいらず 保証人不要!
- 大型団地内だから 潜在顧客が豊富



街に、ルネッサンス
UR 都市機構

独立行政法人 都市再生機構
西日本支社 住宅経営部 経営課
〒536-8550 大阪市東区森之宮1-6-85
TEL.06-6969-9044

URテナント 関西 検索



読者の声

VOICE

～第20号に寄せて～

●近くの老人ホームに寄ってふとパンフレットの棚をみてこの「きずなKOBÉ」にまず目が行きました。名前も良いし、表紙の高校生が良いですね。若い方がボランティアで福祉に関わっているのは感動です。定年前は教育に関わっていたので馴染みの高校なのでもしや教え子ではないかとわくわくして見ました。彼らの笑顔は素敵でいやされますね。
T.Oさん(66歳)

●毎号、楽しみに見えています。「フードドライブ」今、食品ロスが問題になっている中、とても素敵な取り組みですね。食べ物が大量に生産され大量に捨てられる事、それでも食べ物がなく苦しんでおられる方々がたくさんおられる事、子育て中の私も取り組んで行ける事、改めて考えて行動に移していきたいです。当たり前の事を色々考えさせられました。ありがとうございます。 E.Iさん(41歳)

●初めて見せて頂きました。ドナルド・マクドナルド・ハウス神戸の記事がとても気に入りました。私の子どもたちはもう大人になりましたが、小さい時には、よく入院していたことを思い出します。このような施設があると、子どもも親も助かると思いました。
H.Yさん(61歳)

プレゼント

アンケートにご協力ください(応募締切:3月19日必着)
「きずなKOBÉ」第21号はいかがでしたか?
ご覧になった感想をお寄せください。お寄せいただいた方の中から抽選で、下記の賞品をプレゼント!

社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団 ワークセンターわかまつ より 焼き菓子詰合せ

A マドレーヌのギフト



3名様

B クッキーのギフト



3名様

今号で紹介したワークセンターわかまつより、2種類のギフトセットをプレゼント。マドレーヌのギフトはパンプキン、ココア、抹茶、プレーンの4種類の味が楽しめます。クッキーのギフトはココア、ココナッツ、カフェナッツ、スノーボールの4種類。とろける食感のスノーボールはお店イチオシです! ぜひご賞味ください。



ギフトボックスにお詰めして
プレゼントします!

【応募方法】ハガキまたはEメールで

お名前、ご住所(〒)、ご連絡先(TEL・FAX・E-mail等)、年齢と希望のプレゼント名、本誌へのご感想を明記して、下記までご応募ください。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

ハガキ 〒651-0086
神戸市中央区磯上通3-1-32
神戸市社会福祉協議会
「きずな・KOBÉ」プレゼント係へ

Eメール kouhou@with-kobe.or.jp

トヨタの福祉車両「ウェルキャブ」を実際に さわって体感できる、常設展示場が 神戸にあります!



〒650-0023
兵庫県神戸市中央区栄町通7-1-3 2F
神戸中央郵便局西向い

営業時間/午前10時～午後6時
定休日/毎週月曜日および第2週
火曜日(祝日の場合は翌日)

ハートフルプラザ神戸

検索



カタログだけではわかりづらい、実車の使い勝手や機能・操作の確認をしていただけます。専任のスタッフが、お客様のご要望に適したクルマ選びのお手伝いをいたします。販売につきましては、ご希望の販売店をご紹介します。カスタマイズ(架装・改造)のご相談も承ります。



〈架装例〉ステップパルス取付

手すりやステップの追加、回転シート、車いす収納装置の装着などカスタマイズのご相談も!

トヨタウェルキャブ 総合展示場 **トヨタハートフルプラザ神戸**
TEL.078-366-1616 FAX.078-360-0399

きずなKOBÉ 第21号 (2020年2月発行)

発行 社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会
〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-1-32 こうべ市民福祉交流センター
https://www.with-kobe.or.jp/ TEL 078-271-5306 FAX 078-271-5366
製作 株式会社高速オフセット

「きずなKOBÉ」では、企業等の広告を募集しています。広告掲載のお問い合わせは、078-271-5306 神戸市社会福祉協議会 広報交流課へ。



この広報誌は、ふれあいのまちKOBÉ・愛の輪運動から補助を受け発行しています。